



発行
公益社団法人

VOL.011. 2015.07.15

つくば市シルバー人材センター

きずな 編集企画 広報部会

〒300-3257 つくば市筑穂 1-10-4 (大穂庁舎内)
TEL 029-879-5199 FAX 029-879-5198
<http://www.tsukuba-sc.com>



初夏の筑波山



アジサイ



マツバギク

主な内容

剪定の講習会と技能審査……………	2	〈現場を訪ねて〉草刈り班の活躍……………	6
意識調査アンケート……………	3	ご案内……………	8
筑波研究学園都市探訪……………		平成27年度つくば市シルバー人材センター新体制決まる……………	8
国立科学博物館……………			
筑波実験植物園を訪ねて……………	5		

剪定の講習会と技能審査

五月二五日〜二七日、晴れ渡った青空の下、恒例の「剪定技能講習会」と「剪定技能審査」が、つくば市荃崎地区の「畜産草地研究所」で行われた。樹種は「黒松」である。

講師陣一八名、受講者四二名、総勢六〇名が四班に分かれ、講習会がスタートした。三日間を通して、主催者側、講師陣から繰り返し行われたのが安全指導で、受講者も、自身の装備



(5月27日剪定技能審査会場)

の確認と点検には念を入れていた。初日は開講式につづき、講師から実技指導が行われた。松の本数がどのくらいあるのだろうか、とにかくすごい本数だ。

剪定の実技講習では、枝が伸び放題の黒松を姿スッキリするには思い切った剪定が必要である。平行枝、交差枝など忌み枝の処理、団子状態の混み合った先端部分を必要な「芽」を残し、そして伸びた「みどり摘み」を行う。剪定の専門用語等も実技講習を通して



(5月27日講師陣による審査風景)

確実に学んで行く。

最終日は「剪定技能審査」が行われた。自分が受検する黒松の枝を、講習を通して学んだことを思い出しながら上から順に剪定を行った。

シルバー人材センターの会員たちはこうして剪定の技能をみがき、お客様により良い剪定の成果を提供できるよう、毎年一月には「冬季剪定講習会」を行っている。このようにさまざまな樹木の剪定技能講習を行い、どんな樹種



(5月27日同じく審査風景)



(5月25日実技講習風景)

であっても対応できるように剪定技能の向上をはかっている。

(広報部会取材班)

意識調査アンケート

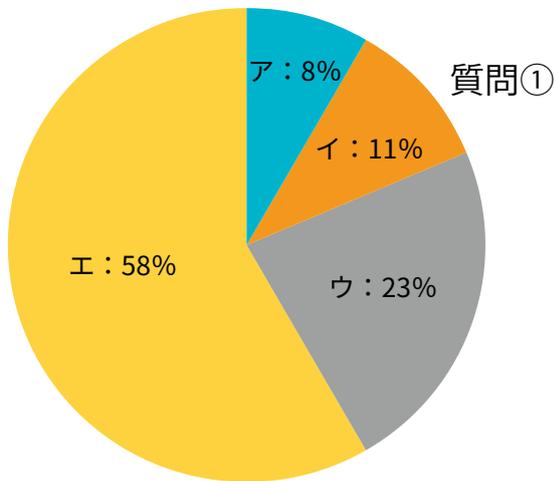
昨年9月、つくば市シルバー人材センター(TSJC)の谷田部地区では、同地区会員向けに意識調査アンケートを実施し、その結果を『谷田部地区通信』上に掲載しました。

シンプルなアンケートですが、この結果が、懸案である就業の実態、会員

調査アンケート結果

《質問① 就業したことがありますか?》

ア：入会后一度もない	8
イ：入会后1回は就業したことがある	10
ウ：たまに就業するときがある	22
エ：定期就業中	56
合計	96



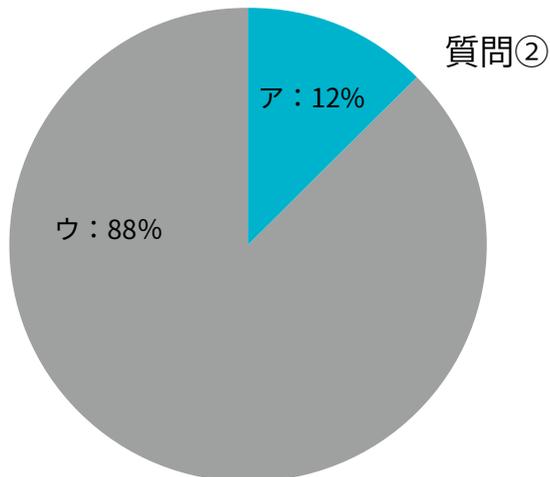
が期待されているボランティア活動への参加など、現在の状況がすこしは読みとれるように見えます。広報部会では、この結果を広くみなさんにも伝える意味があると考え、「きずな」本号に掲載することにしました。

アンケートの質問は6項目あり、質問①から質問⑤までは2択〜4択、質問②と質問④では「その他」のところで「ご意見」があれば記入して頂きました。

アンケートの回収率は40.9% (96通/谷田部地区会員235名)でした。

《質問② 前問のアに○をした方にお伺いします》

ア：自分に適した仕事がない	1
イ：現在シルバー以外の仕事をしている	0
ウ：その他	7
合計	8

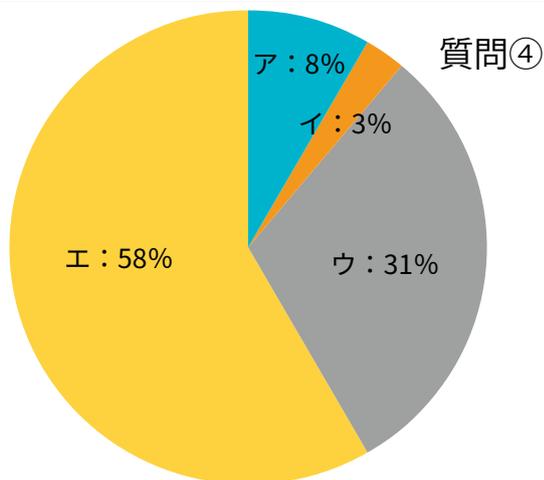


※質問②に対するご意見

- ・ 申込んであるが連絡がない
- ・ 入会したばかりなので
- ・ 子育て支援がスタートしていない

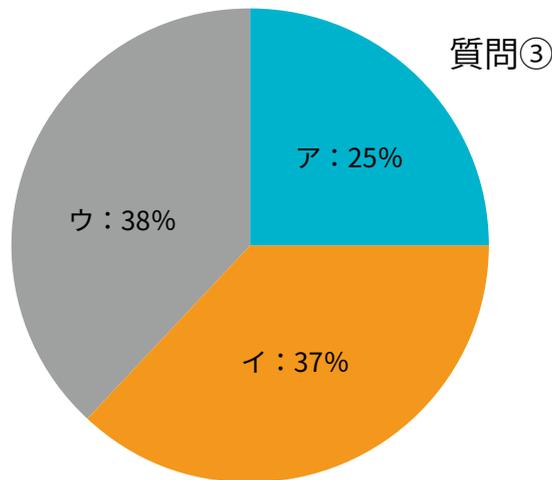
《質問④ 前問のウに○をした方にお伺いします》

ア：参加するのが面倒である	3
イ：あまり人とかかわりたくない	1
ウ：忙しい	11
エ：その他	21
合計	36



《質問③ 地区懇談会、アダプト・ア・パーク（ボランティア）等地区活動に参加されていますか？》

ア：積極的に参加している	24
イ：たまに参加している	35
ウ：参加したことがない	36
合計	95

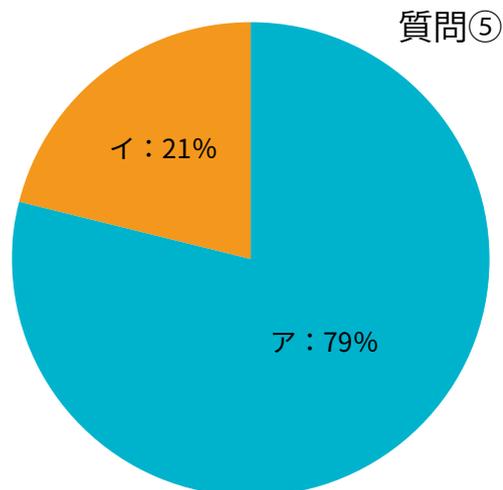


※質問④に対するご意見（回答は原文のまま）

- ・身体に障害があり作業的は不可能
- ・参加できる時は参加するよう努めます
- ・仕事の内容・目的が知りたい
- ・妻の介護で忙しい時がある
- ・知り合いがないので出にくい
- ・通院
- ・用事、及び仕事のある時は出席していません
- ・知らなかった
- ・仕事の都合で参加できない時がある
- ・わからなかった
- ・入会したばかりなので
- ・地元・地域内公園のパークレンジャー（ボランティア）活動に参加している
- ・谷田部地区女性部会の懇談会にたまに参加しております。先日の介護保険については参考になりました。アダプト・ア・パークは家の近く高野台公園の時は参加しようと思っておりますが、仕事とぶつかってしまう

《質問⑤ 来年度において、当センターで大規模なボランティア活動を企画した場合あなたは参加する意思がありますか？》

ア：はい	72
イ：いいえ	19
合計	91



※質問⑤に対するご意見（回答は原文のまま）

- ・身体に可能であれば是非参加したい
- ・体調と通院状況次第です
- ・予定が合えば
- ・わからない。内容による
- ・来年度も就業を続ける予定
- ・現在定期就業中の仕事が忙しい
- ・60才以上のボランティアってなんですか？
- ・無理なくできる範囲で
- ・その場所に行く足がない（車）
- ・仕事と重ならないなら参加する
- ・次年度はやめたい
- ・内容による
- ・出来るだけ参加したい
- ・地元・地域内公園のパークレンジャーに参加するため
- ・今のところシルバーの仕事があります。（剪定、草刈）

筑波研究学園都市探訪 国立科学博物館 筑波実験植物園を訪ねて

つくば市には、国の研究機関やその附属施設が多数活動し、一般に公開されているところも少なくありません。その一つが、市内の中心部近くにある国立科学博物館筑波実験植物園。植物の多様性を知り、守り、伝えることを使命に、研究、保全、展示・学習支援活動を行っています。年間を通して企画展、市民による植物展示、自然観察会、専門家のお話、天体観望会など企画がいっぱい。園内を歩くと、とにか



(3月15日～3月22日：つくば蘭展)

く楽しく、教えられることが多いという一言に尽きます。

最近の楽しい観察例を一つあげてみましょう。この5月～6月のクレマチス園特別公開では、広報部取材陣も訪れて、多くの種類のクレマチスを間近で観察することができました。さまざまなクレマチスを観察しつづけているうちに、形も色もなぜこんなに違う種類が多いのだろうか、植物の多様性に驚かされながらの新しい発見がいくつもありました。

植物には、不思議なものをもたらしにくれる何かがありそうです。



(3月：食虫植物の常設展示)



(3月22日：同植物園にて)



(5月2日～6月14日：クレマチス園公開)



(3月：温室内の植物)

〒305-0005 つくば市天久保4-1-1
 電話：029-851-5159
<http://www.tbjg.kahaku.go.jp/>
 交通アクセス…
 (電車・バス) つくばエクスプレス終
 点「つくば駅」前のつくばバスターミ
 ナルから「天久保二丁目」か「つくば
 実験植物園前」下車、徒歩。
 (自動車) 常磐自動車道桜土浦 I.C.
 から北へ約 8 km。

今回は、地域からの厚い信頼と期待に支えられているつくば市シルバー人材センター草刈り班(荳崎地区)の活躍を追った。平成27年6月初め、つくば市の最南部にある「あしび野多目的広場」がその現場だった。

朝の集合は早い。集合時間は七時半であるが七時過ぎにはみんなが決められた集合場所にやってきた。揃ったところでのいつものミーティングが始ま

〈現場を訪ねて〉 草刈り班の活躍



(5月：園内にある熱帯資源植物温室、サバンナ温室、熱帯雨林温室、水生植物温室)



車両にも毛布をかけよう



作業前に防護ネットを張る



刈り払い作業

る。現場に隣接した場所は、住民の駐車場であり沢山の車が駐車しているの
で、十分な安全対策、とくに「石撥
ね防護」対策をとって作業に入るよう
に、入念な確認がなされた。

シルバーの安全委員会から支給され
た防護ネット、自分たちでそろえた防
護用古毛布や巻き取り式の大きな防護
ネット、各種サイズの熊手、ほうき、
ブルーシート、そして刈り取った草な
どを吹き集めるブロワーがそろった。
全てがそろったところで出発となる。

現場につくと直ぐに、付近に駐車し
ている住民の車に、毛布などで「石撥
ね防護策」を講じた後、草刈り作業に
とりかかった。草刈機は大容量のエン
ジンもち、耐久力があるプロ用のも
のである。エンジン音が鳴り響き、十
分な安全間隔を取る。

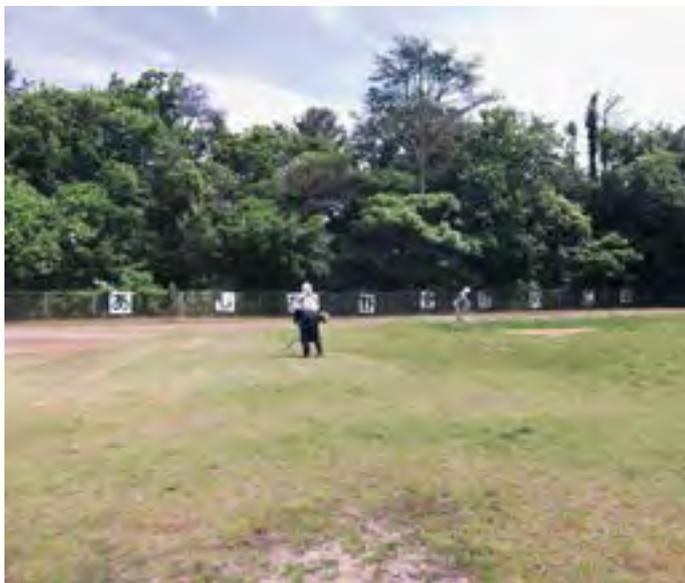


ブロワー作業

今日の作業メンバー数では足りない
くらいの広いグラウンドでは、人が小
さく見える。それでも伸びた雑草を確
実に刈り取っていくが、作業は一日で
は終わらない。この現場では二日間か
かるとのこと。仕事の合間をぬって班
長から興味深いお話をうかがうこと
ができた。

この仕事のポイント第一は、エンジ
ンを使った機械は、命にかかわる危険
性を伴うことを十分に認識して作業し
なければならず、各人の作業間隔を十
分にあげることが大切。第二は、「石
撥ね」で車の窓ガラスを割るなどの事
故で他人に迷惑を掛けないような対策
を必ずとること。

かなりきつい作業なので休憩は欠か
せないし、これからの時期は、熱中症
対策に休憩や水分、塩分の補給も必要



危険防止のため間隔をあけて作業



防護ネットを張って草刈り作業

となるとのこと。

グラウンドもすっかりきれいな
り、また、皆さんが作業に取り組み姿
勢などに感心させられました。地元の方
々から好感を持たれている理由がわか
ったような気がします。

最後に、まだ草刈りの仕事をやってお
られない方々も、共通の作業仲間として
加わることで、第二の人生にチャレンジ
してみてもどうでしょう。
(取材班)

ご案内

つくば市シルバー
人材センターでは、
毎月の入会説明会お
よび面接を行って
おり、8〜10月は下
記のとおりで行う予
定です。入会ご希望
の方は、直接説明会
場へお越しください。
お問い合わせは、お電
話で受けつけており
ます。

開催月日	時間	会場
8月13日(木)	午後1時30分	シルバー人材 センター会議室 (大穂庁舎3階会議室)
9月10日(木)	午後1時30分	同上
10月8日(木)	午後1時30分	同上

*電話：029-879-5199
*HP：<http://www.tsukuba-sc.com/>

平成27年度つくば市 シルバー人材センター 新体制決まる

平成27年6月25日(木)午前10時よ
り、市民ホールとよさとにて、公益社
団法人つくば市シルバー人材センタ
平成27年度定時総会が開催されまし
た。会場では、平成26年度および27年
度の事業報告、収支決算や予算が報告
され、それぞれ承認されました。また、
6月はじめに開かれた臨時理事会で選
ばれた新理事長福田征男、副理事長橋
本憲明の両氏が、今回の定時総会で紹
介され、新体制での船出にあたり、両
氏から力強い決意の表明がありました。

◆きずな原稿募集

「きずな」の原稿を随時募集して
います。就業先での出来事や体験談、
身近な出来事等々、お待ちしていま
す。些少ではありますが執筆謝礼を
ご用意いたします。

編集後記

今回から、シリーズとして、取り上げ
ているものがいくつかがあります。シル
バーの人がどんな仕事に従事しているの
か職場紹介や、アンケートによる意識調
査など掲載しました。今後内容を一層充
実していきたいと考えています。継続は
力なりと言いますが、次回以降も編集員
一同頑張ります。

さて 今年「科学万博―つくば85
(EXPO85)」から、もう30年になると
の事です。私事で恐縮ですが、エキスポ
センターで、つくば科学万博ツアーを開
催しているそうで、興味が有り参加して
みようかなと考えています。
(菊田)

今号の表紙には、初夏の筑波山のふと
ころで育まれている植物を載せてみよう
と考えて、このところなんか登ってい
る筑波山へ出かけました。途中、自転車
でツーリングを楽しむ人たちを少なから
ず見かけました。便利な世の中になつた
とはいえ、自然を楽しむには、こういう
運動が何よりかもしれないと痛感させら
れた次第です。山では折々の季節を反映
して、4月カタクリ、5月ツツジ、6月
はアジサイなど多くの花が咲き乱れてい
ました。
(山内)